

## 20 歳 未 満 の 死 因 順位別死因及び死亡率・割合（平成28年）

		1 位	2 位	3 位		4 位		5 位
0歳	愛知県	先天性奇形、変形及び染色体異常 44 (68.5) <37.6>	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 20 (31.1) <17.1>	乳幼児突然死症候群 4 (6.2) <3.4>	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害 4 (6.2) <3.4>	不慮の事故 3 (4.7) <2.6>	代謝異常 3 (4.7) <2.6>	/
	全国	先天性奇形、変形及び染色体異常 663 (67.9) <34.4>	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 282 (28.9) <14.6>	乳幼児突然死症候群 109 (11.2) <5.7>		不慮の事故 73 (7.5) <3.8>		胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害 67 (6.9) <3.5>
1～4歳	愛知県	先天性奇形、変形及び染色体異常 13 (5.0) <32.5>	肺炎 4 (1.5) <10.0>	心疾患 3 (1.1) <7.5>		悪性新生物 2 (0.76) <5.0>	不慮の事故 2 (0.76) <5.0>	/
	全国	先天性奇形、変形及び染色体異常 150 (3.8) <21.7>	不慮の事故 85 (2.2) <12.3>	悪性新生物 59 (1.5) <8.6>		心疾患 40 (1.0) <5.8>		肺炎 35 (0.9) <5.1>
5～9歳	愛知県	先天性奇形、変形及び染色体異常 5 (1.5) <25.0>	悪性新生物 4 (1.2) <20.0>	敗血症 2 (0.6) <10.0>	インフルエンザ 2 (0.6) <10.0>	不慮の事故 2 (0.6) <10.0>	/	/
	全国	悪性新生物 84 (1.6) <21.5>	不慮の事故 68 (1.3) <17.4>	先天性奇形、変形及び染色体異常 32 (0.6) <8.2>		肺炎 19 (0.4) <4.9>		心疾患 16 (0.3) <4.1>
10～14歳	愛知県	不慮の事故 5 (1.4) <23.8>	先天性奇形、変形及び染色体異常 3 (0.9) <14.3>	悪性新生物 2 (0.6) <9.5>	自殺 2 (0.6) <9.5>	/		/
	全国	悪性新生物 95 (1.7) <21.6>	自殺 71 (1.3) <16.1>	不慮の事故 66 (1.2) <15.0>		先天性奇形、変形及び染色体異常 27 (0.5) <6.1>		心疾患 19 (0.3) <4.3>
15～19歳	愛知県	自殺 23 (6.1) <36.5>	不慮の事故 18 (4.8) <28.6>	悪性新生物 7 (1.9) <11.1>		心疾患 4 (1.1) <6.3>		/
	全国	自殺 430 (7.2) <36.9>	不慮の事故 306 (5.1) <26.2>	悪性新生物 120 (2.0) <10.3>		心疾患 45 (0.8) <3.9>		先天性奇形、変形及び染色体異常 26 (0.4) <2.2>

注 1) 死因順位の選び方については、人口動態統計で使用されている「死因順位に用いる分類項目」及び「乳児死因順位に用いる分類項目」を使用した。

2) ( )は各年齢階級人口10万対の率、ただし0歳は出生10万対の率

3) < >は百分率（それぞれの年齢階級死亡数を100とした場合の割合）

4) 愛知県は名古屋市、中核市を含む。

5) 数値は、人口動態統計(平成28年)